

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873400208
法人名	有限会社 介護支援サービス しるもと
事業所名	グループホーム・サマリヤの家
所在地	上浮け穴郡久万高原町上野尻甲 6 2 3 - 2
自己評価作成日	平成21年6月15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年7月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

当ホームは四季折々の自然豊かな山々に囲まれた久万高原町の人情豊かな下町にあり、1階がデイサービス、2階がグループホームとなっています。「自由権の尊重」を基本理念に置き、入居者の意志、行動に対して危険性がない限り干渉せず、自立と本人の望む生活を支援することに力を入れて取り組んでいます。開設当初より地域住民との交流が活発に行われていましたが、デイサービスが出来た事によって、より一層交流が深まっている。認知症になっても住み慣れた地域の中で、支え合う職員と共に楽しく自分らしく暮らしています。

利用者は、日々の散歩時等、ご近所の方とあいさつを交わしたり、立ち話をされている。地域の夏祭り「久万踊り」では「介護はお任せ」の看板を掲げて、利用者と共に衣装や踊りを考え、楽しく参加されている。今年、新たに始まった地域の町おこしのバザー「元気バザール」では、事業所でヨモギ饅頭を作り「サマリヤ餅」と名付けて販売されており、事業所のことを広く知ってもらえている。地域のバザーで販売した「サマリヤ餅」の収益金で、利用者個別にお寿司やうどんを食べに、地域のお店に外食に行かれた。

併設デイサービスを利用者のご近所の方やご家族が利用されており、一緒に過ごされたり、食事をすることもある。利用者がご主人に会いに行くために、職員がお連れしていた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 当ホームは開設当初より、住み慣れた地域での安心した生活と本人の望む自由な暮らしを支えるために、代表者と管理者が、様々な場面で理念の大切さと実践に向けた取り組みについて話し、ホームの理念を職員全員で作成し、共有し、迷った時は理念に戻り、実践に向け努力している。	
			(外部評価) 「やさしい目 やさしい手 主役はお年寄り」という事業所の理念に沿って、利用者に、1日1回は「よかった」と思っていたけように取り組んでおられる。運営者、管理者は職員と共に理念について、よく話し合っておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 自治会にも加入しており、公民館の行事、婦人会、高校の文化祭のバザーや近所の幼稚園、保育所の行事にも声をかけてもらい、出来るだけ参加し地元の方々との交流に努めている。	
			(外部評価) 利用者は、日々の散歩時等、ご近所の方とあいさつを交わしたり、立ち話をされている。地域の夏祭り「久万踊り」では「介護はお任せ」の看板を掲げて、利用者と共に衣装や踊りを考え、楽しく参加されている。今年、新たに始まった地域の町おこしのバザー「元気バザール」では、事業所でヨモギ饅頭を作り「サマリヤ餅」と名付けて販売されており、事業所のことを広く知ってもらえている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 現在まで職場体験実習生の受入や認知症サポーター講座の開催、及び在宅で認知症高齢者を抱える家族の相談援助等行ってきたが、もっと幅広く町内の方々に、グループホームを知ってもらうため、久万高原町主催の夏祭り「久万踊り」に参加したり、地域バザールに出店させてもらい住民の方にアピールすることが出来た。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議には家族、行政職員、地域の様々な立場 の方々にホームの取り組みを知って頂くと共に、参加 者の質問、意見、要望など双方向的な会議になってお り、外部者からの意見を質の向上につなげられるよう 取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) 会議では、運営推進会議の内容や「地域に開かれた事 業所にするにはどうしたらよいか」等、出席者の方達 と話し合いを重ねておられる。又、外部評価機関が発 行する家族アンケート集計表の内容をお知らせして、 意見をうかがった。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 町が月1回行っている地域ケア会議に参加するよう にし、情報の共有を図っている。町の担当とは協力関係 にあり、いつでも相談、助言が受けられる関係が構築 されている。</p> <p>(外部評価) 町の担当者に、事業所での利用者の状態や生活につ いての相談をしながら、支援について検討されている。 月2回の介護相談員の受け入れや、認知症サポーター養 成やうつ病についての講座を、講師を招いて開催され た。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準にお ける禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) やむを得ないケースとして家族の同意を得て1例のみ 行ったが、拘束は人権侵害に当たることを全職員が認 識している。日々の業務チェック、見守り、巡回及び 職員への継続的な意識付け(身体だけでなく言葉かけ も)を行い、身体拘束0の方針で職員全員で取り組ん でいる。</p> <p>(外部評価) 事業所では、「主役はお年寄り」という理念に基づ き、利用者の思いを大切にされ、利用者の状態に合わ せて職員で話し合い、かかわりを検討されたり、職員 数を増やしたり、勤務時間を調整しながら、身体拘束 をしないケアを実践されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 代表や管理者が虐待防止に関してははっきりとした考え方や、方針を持っており、常にカンファレンス等でも話し合っている。身体的、精神的全ての虐待を生じさせないように、職員のストレス解消を含め、継続的に取り組んでいる。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在当ホームに対象者が1名いる。権利擁護の研修など職員と共に学び、研修出席者が学んだことは全職員に周知している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時には、当ホームのケアに関する考え方や取り組みなどをはじめ、グループホーム協会から出ている権利、倫理綱領等を契約書と一緒にお渡しして不安のないよう十分に説明し、理解、納得をして頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員が月に2回来訪しており、利用者が外部の人に思いを話せる機会となっている。また、管理者、職員にも話すことが出来るよう、個々の部屋での会話を持つようにしている。出された希望や、要望は運営や日々のケア活かしている。 (外部評価) 管理者は、利用者のことについては、ご家族に細やかに伝えることに努めておられる。外部評価機関が発行する家族アンケート集計表をご家族に配布し、ご家族から事業所に対して意見を出していただけるようお話をされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			代表者・管理者は常に職員の要望や意見を聞くように心がけている。職員の雇用や運営の方針なども相談しながら職員の意見・要望・提案がホームの運営に反映されるよう取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			普段から運営者、管理者は、職員と相談しながら決めておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			運営者がいつも現場の状況を把握している。資格修得を奨励し、修得後は資格手当を含め、向上心を持って働けるよう労働環境作りに努めている。	
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			新人研修をはじめ全ての職員が、段階に応じた研修（GH連絡協議会の研修）をしてもらっている。受講後は報告書を提出してもらい回覧したり、カンファレンスで発表してもらうことで、全職員が共有している。また、働く中で管理者がその都度指導している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			愛媛県GH連絡協議会に加入しており、毎年1回行われている相互訪問研修に参加している。また、毎月行われている協議会主催の研修会に1名づつ出席している。ネットワーク作りや質の向上に向け取り組んでいる。町内のホームとの交流は今後の課題。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			出来るだけ生活状況の把握に努め、利用者によって訪問、入居の段階を踏み、信頼関係を作ることにより本人、家族が安心できるよう努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族が困って相談を持ちかけられたときは、困っていることをじっくり聴く事で、不安な事、求めて行く事を、双方の理解と納得が行くまで話し合いをするよう努めている。場合によっては、他のサービスにつなげることもある。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 基本的に申し込み順に入居してもらっており、共同生活が著しく困難等、特別のことがない限り柔軟な対応を取らせてもらっているが、状況によってはケアマネージャー等と連携の上、他のサービスにつなげることもある。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 一緒に時を過ごす家族のような関係作りに努めている。毎日を一緒に過ごすことで共に喜び、共に哀しみ、支え合っていく生活を作り上げていく努力をしている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 様々な家族の在り方があるが、それぞれに置かれた家族の思いに寄り添いながら喜怒哀楽を共にして、本人を支える関係を築くよう努めている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 個々の能力に合わせて馴染みの人や、場所との関係がとぎれないように支援している。墓参りに行ったり、デイサービスに知り合いが来たときは会いに行ったり、訪問してもらったりしている。 (外部評価) 併設デイサービスを利用者のご近所の方やご家族が利用されており、一緒に過ごされたり、食事をすることもある。利用者がご主人に会いに行くために、職員がお連れしていた。電話でご家族とお話しされる方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 仲の良い利用者さん同士で座ってもらったり、孤立しがちな方は、職員が上手く関われる場面を設定したりしながら利用者同士の関係の支援をしている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) ホームでの対応が困難になり、長期に入院となっている利用者、家族との関係を断ち切らないようお見舞いに行ったり、相談を受けたりしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で職員が本人、一人一人の把握に努めている。可能な限り本人の意向を第一にしているが、意志疎通の困難な方の場合は、本人の表情、仕草から汲み取ったり、家族の希望を聴くようにすることで、本人の思いが叶うよう努力している。 (外部評価) 職員は、利用者との日々のかかわりの中で、行きたいところや食べたいものを探っておられ、意思疎通がむづかしいような方も、発言や表情から思いを汲み取るよう努めておられる。100歳を超える方は、眠る日や起きている日等、その人の思いや意向を大切に支援されている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 普段の関わりの中から、本人自身への聞き取りや、家族・友人が来訪時に職員が把握に努めるようにしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人一人の出来ること（排泄、睡眠、生活習慣等）を日々の関わりの中で職員全員に周知し把握するよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人希望を第1とし、家族の希望や思いを、普段の生活の中から汲み取り、センター方式の様式を取り入れたことで、プランに生かせるよう努力している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者それぞれの日頃の「つぶやき」や言葉、希望についてメモし、実現に向けての支援方法もそれぞれで考えて、全員で話し合い介護計画を作成されている。毎月職員でモニタリングを行い、必要に応じて随時見直しを行っておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケース記録に、一人一人の状態（食事、排泄、入浴、口腔ケア、血圧、水分）や会話など生活状態が分かるように時間を追って記入ができるよう共有し、実践している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>併設のデイサービスのイベントへの参加や、同事業所内でのイベントの参加などの交流を行っている。今までの行きつけの美容院の利用や、個別の外出、松山市の病院の受診等必要に応じ本人・家族の状況や要望に臨機応変に対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域ケア会議、運営推進会議などで協力をお願いし、普段から連携を摂っている。また、保育園、幼稚園、学校等の行事等の参加や職場体験の受入など行い、地域で安心して暮らしていけるよう支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族の希望するするかかりつけ医に月1回往診して もらっている。体調不良時は随時往診してもらったり、職員が 同行し、受診をしている。病状を把握、家族と共有し適切な 医療が受けられるよう支援している。町外の医療機関への受 診も基本的には職員が同行するが、状況によってはご家族の 同行をお願いしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>以前からのかかりつけ医への受診を支援されている。 協力医には24時間対応していただき、利用者の状態に 合わせて水分の摂り方、食事について等、その都度ア ドアイスをいただいている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>普段は介護職員で一人一人の体調管理や病状把握に努 めており、急変時は24時間体制でのかかりつけ医 や、職員の中に看護職の人がいるので指導が受けられ る。</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院時には出来るだけ短期間で退院出来るよう主治医 と話をする機会を多く持ち、家族とも情報交換しなが ら、早期退院に向けて、職員が頻繁に見舞うようにし ている。</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居後早期の段階で重度化に対するホームの考え方、 対応方針、医療との連携など十分に説明し意思の確認 を行っている。また、状況の変化に応じて話し合いを 繰り返し重度化や終末期に向けた支援を行っている。 当ホームでは開設当初より、本人・家族の希望に添う よう終末期ケアに取り組んでいる。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方については、ご家族 にアンケートで希望を聞き、ご本人の思い等も合わせ て話し合われている。看取りについては、ご家族や職 員、医師と話し合いを重ね、意識統一して支援に取り 組まれている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) マニュアルを作成し、カンファレンス等で周知徹底を図っている。消防署の協力を得て、毎年1回法人全体で救命救急法の勉強会を実施している。実際の場面で生かせるよう取り組んでいるが、いざとなると慌ててしまう不安もあるので繰り返し練習するよう努めている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署の協力を得て、避難訓練、消火訓練を年1行っている自治会にはホームの見取り図と利用者の身体状況(寝たつきり等)をプライバシーを配慮しながら情報提供し、いざというとき1番に駆けつけてもらえるようお願いしている。また、代表、1名の職員が近所に住んでおり、すぐ駆けつけられる状況にある。 (外部評価) 年に2回、避難訓練を行っておられる。運営推進会議時にメンバーの方も参加して行われた。又、地域の方にも協力をお願いされている。	今年度、スプリンクラーの設置を計画されている。又、いざという時、慌てないように避難訓練の回数を増やしていきたいと考えておられた。今後、事業所では、災害時に事業所が地域のために協力できることがないか、運営推進会議で話していきたいと考えておられた。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) カンファレンス時等折々に職員の向上を図ると共に、その時々に関わり方を代表者や管理者が利用者の誇りや、プライバシーを損ねない対応の(特に人前でのトイレ誘導の声かけ入浴時の羞恥心に対する配慮等)や自己決定の出来る言葉かけの指導等を折々に行っている。 (外部評価) 2階の踊り場にソファを置き、本を置いたり、好きな音楽を流す等、居間から少し離れた場所を作られており、気に入っておられる方がいる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 一人一人の持てる力に合わせて、入浴時の衣類の選択、買い物時の選択、おやつ飲み物の選択等、出来る限り自己決定してもらうよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 基本的な1日の流れはあるが、一人一人のペースを尊重し「早く」「待って」と言う言葉を出るだけ使わないよう心がけて、利用者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるよう努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 着替えなど本人の意志で決めてもらっているが、自己決定がしにくい支援の必要な利用者さんは職員が手伝ったり、見守りを行っている。美容院は本人が行きたいとき、行きつけの店に行けるよう支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 家庭菜園で採れた野菜の下ごしらえや、調理の下準備、片付けなど一緒に行っている。昼食時は利用者さんと一緒に同じテーブルに着き同じものを食べ楽しい雰囲気です。	
			(外部評価) 事業所の菜園で実った野菜を利用者が収穫して、下準備をしてくださることもある。事業所では、食事を「目でも楽しんでもらえるよう、少しずつ色々なものを彩りよく」と考えておられ、「おかずがたくさんあって美味しいから、ご飯は残してもおかずは食べるのよ」と利用者の方がお話ししてくださった。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養が偏らないよう調理に心がけている。食事の摂取状況を毎日チェック表に記録している。10時、3時のおやつ、入浴後の水分補給に気を付けている。また、普通食の摂取が出来ない方には個別に軟らかく煮たり、とろみをつけたり一人一人の状態や力に合わせた支援をしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後歯磨きの声かけを行いチェック表の記入をしている。歯のない利用者さんに対してはうがいをしてもらったり、自分で出来ない方は、ガーゼ等を使用することで、口腔内の清潔保持に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 利用者や一人一人の排泄パターンを把握し、出来る限りトイレで排泄出来るよう声かけやトイレ誘導を行っている。紙パンツから布の下着に替えることで不快感の排除、自己負担である排泄用品の出費の軽減に努めている。	
			(外部評価) 利用者個々の排泄パターンに合わせて、排泄の声かけをされている。入居時、オムツをされていた方が布パンツを使用するようになった事例もある。職員は、「利用者の気持ちよさ」を大切に、少しでもご自分の力で排泄できるよう取り組まれている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質の多い食材での調理や散歩、水分補給など色々工夫し、自然排便に向けて取り組んでいるが頑固な便秘になったときは下剤の使用を余儀なくされている方がいる。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴回数、時間等個々人の希望に合わせてし、職員が見守りや介助をして、ゆっくり入ってもらっている。又夏場いつでもシャワーで汗を流せるよう声かけている。	
			(外部評価) 入浴に気がすまないような方にも、タイミングを見ながら声かけを工夫されたり、職員が交代で声をかける等、利用者が入浴しようという気持ちになるよう努力されている。	
				現在、入浴を嫌がられる利用者が多く、いろいろ工夫はされているが、支援にむつかしさもあるようだ。利用者個々に応じた入浴の支援という点から、よりくつろげるような入浴支援に向けた工夫を続けていかれてほしい。
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 散歩や買い物など日常の活動を通じて生活リズムを作り、安眠できるよう支援している。寝付けないときは一緒にお茶を飲んだりおしゃべりをしたり、ゆっくりした時間の中で眠りに入れるよう支援している。日中も、おもしろい自由で自室で休息されている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者や一人一人の処方箋をシートにし、使用している。薬を把握し正しく服用できているか確認している。薬が変更したときは職員にも周知し、家族にも連絡し知らせている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 入所前に出来ていたことなどを把握した上で、台所、洗濯、掃除など利用者一人一人が無理の無いよう楽しんで行えるよう、役割が持っている。また、四季折々に花の見学に出かけたり、家に帰るなど(ふるさと訪問)気晴らしの支援を行っている。嗜好品で、ビールを飲みたい方にはいつでも飲めるよう準備をしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日は毎日出かける利用者さんがいるため、近所の人とも顔見知りになっている。買い物にも必ず利用者さんと出かけるようにしている。また、観劇、墓参り、寺参り等行きたいところへ出かけられるよう支援している。	
			(外部評価) 地域のバザーで販売した「サマリヤ餅」の収益金で、利用者個別にお寿司やうどんを食べに、地域のお店に外食に行かれた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お小遣いを自分で管理している利用者さんもいて買い物、お賽銭など自分で払っており、利用者一人一人の能力に応じて支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙は代筆したり、電話のやりとりなど希望に応じ支援している。電話は子機を使用してもらっており、自分の部屋で話ができるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	リビングが天窓になっており、柔らかい光に包まれているので利用者、来訪者もリラックス出来ていると思う。ソファを所々に置いてあるので利用者それぞれ好きな場所でくつろげる工夫をしている。	
			(外部評価)		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	それぞれが思い思いの場所で過ごせるようにソファ等複数箇所に設置している。気のあった利用者さん同士で話をしたり、静かに過ごしたい利用者さんは好きな音楽を聴いたり、口ずさみながら過ごせている。	
			(外部評価)		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	利用者さんの部屋は利用者さんの状態に応じ洋室、和室を利用できるようにしている。タンス、テレビ、小物など本人の使い慣れた物を持ち込んでもらうようにしている。御家族の写真や、誕生日の色紙、花など好みの物が飾られており、安心して過ごせる場所になっている。	
			(外部評価)		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	各居室にわかりやすい表札があり、入り口には好みののれんなども掛けている。家庭的な雰囲気を壊さないよう、場所違いや混乱を防ぎ、出来るだけ自立した生活が送れるように工夫している。	
			(外部評価)		